

第1学年 技術・家庭科 学習指導案

日時：平成15年10月1日(水) 5校時
生徒：1年B組 男子16名 女子14名 計30名
指導者：宮古市立津軽石中学校 教諭 坂本 純子

1 題材名 食材にこだわる (家庭分野 A生活の自立と衣食住)

2 題材について

(1) 題材観

中学生は生涯の健康を支える身体をつくるためにもきわめて重要な時期である。しかし、今日の日本の食を取り巻く状況を見ると、いつでもどこでも簡単に食べられる食品が多く出回り、食欲にまかせて食べる子供も増えてきており、その影響は健康面だけでなく精神面にまで及んでいると言われている。また輸入製品や工場製品としての食品の氾濫は、食としての本来の姿を失わせ、季節感や地域性もなくしてきてしまった。

このような食を巡る状況の中で、適切な食生活のあり方を学ばせ、身につけさせることは、生活の自立のためにはもちろん、生涯にわたり健康な生活を送るためにも重要なことである。特に加工食品に使用されている食品添加物については、健康に関わるさまざまな問題が取り上げられているにもかかわらず、それを意識して食品を選択しようとする傾向はあまりみられない。

そこで、自立した消費者の一人として、食品の安全性、加工食品の表示の見方、食品添加物の種類など、常に新しい知識・情報を知ることの必要性に気づかせたい。そして、自分の食生活に応じた適切な食品の選択と購入の方法を身につけ、有害な食品から身を守り、本当に豊かな食生活を求める態度を養いたい。

(2) 生徒観

生徒たちは、家庭科の中で「食」に関する学習への興味関心は高く、授業に対しても意欲的に取り組む生徒が多い。また、事前のアンケートでは、調理方法とともに栄養に関することを学びたいという生徒も目立ち、健康に対する関心も高いことがわかった。現代社会では大人も子どもも健康に対する不安が大きい。本校の生徒たちも予想以上に健康に関わる学習に興味を示している。しかし実際には、食べたいものやおいしさで食品を選ぶ傾向があり、自ら意識して食生活に気をつけている生徒はわずかであった。食品の購入の際にも消費期限や値段に注意するものの、どのような材料が使われているかを意識して選択することは少なく、マスコミから流れる情報はなんとなく目にしてはいるが自分の体のために本当に必要なものは何であるかを意識して生活していないこともわかった。

そこで、加工食品についての学習を行い、現在の食生活の問題点について考えさせることにより、自分たちの食生活のあり方を改善していこうとする態度が育つと考える。

(3) 指導観

わたしたちは日常的に食品添加物を採り続けているが、体に対してどのような影響を及ぼすかはまだあきらかにされていない部分も多い。しかし、摂取の仕方によっては発ガン性が指摘され、染色体への異常やアレルギー疾患との関わりも取り沙汰されている。そこで、実際に食べている食品にはたくさんの食品添加物が使用されていることに気づかせ、食品添加物の量や種類の違いのある食品を実際に見たり、触ったりして、いろいろな観点から比較させることで問題点について考えさせたい。そして自分の健康を守るためには食品表示から得られる情報を活用することが大切であることに気づかせ、自分の意思でよりよい食品を選択していこうとする態度を養いたい。

3 題材の目標

- ・身近な食品に関心を持ち、用途に応じて適切に選択しようとする。 【生活や技術への関心・意欲・態度】
- ・食品の選択について学んだ知識と技術を活用して、適切な食品の選択方法を考えることができる。 【生活を工夫し創造する能力】
- ・用途に応じて適切に生鮮食品や加工食品を選択できる。 【生活の技能】
- ・身近な食品の品質を見分ける観点について理解している。 【生活や技術についての知識・理解】

4 指導計画と評価規準 食材にこだわる・・・5時間

学習内容	欄	学習目標	評価規準	未達成の場合の手だて
生鮮食品の選び方を考えよう	1	生鮮食品の特徴を理解し、食品の適切な選び方を考えようとする	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食品の良否を鮮度、品質、衛生などの観点から考え、見分けようとする。 【関心・意欲・態度】 ・生鮮食品の品質の見分け方や選び方の観点をまとめ発表することができる。 【知識・理解】 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な比較のポイントを示す。 ・グループで話し合わせ、他の意見を聞かせながら考えをまとめさせる。
加工食品について知ろう	1	食品表示について関心を持ち、情報を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・食品表示・マーク（原料や食品添加物、栄養成分、品質保持期限など）を調べ、その意味を読み取ることができる。 【知識・理解】 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の食品を見せて読み取らせる。更にその後の学習の中でも繰り返し取り上げていく。
	1	食品添加物の種類や使用目的について理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・食品添加物の種類や使用目的について理解している。 【知識・理解】 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の食品を提示し使用目的が具体的にイメージできるようにする。
加工食品の選び方を考えよう	1 (本時)	食品添加物の安全性と問題点を理解し、加工食品の選び方を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・食品添加物について関心をもち、適切な食品を選択しようとしている。 【関心・意欲・態度】 ・食品添加物の安全性と問題点を理解している。 【知識・理解】 ・食品添加物の知識を生かし、適切な食品選択をする観点を考えることができる。 【創意工夫】 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いに参加できない生徒には、他の意見を確認させながら自分の考えを持てるようにする。 ・これまでの学習のポイントや話し合いの様子を想起させる。
安全でおいしい食品を選ぼう	1	実際の調理実習に適した食品を考え選択することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の状況に応じた加工食品の適切な利用と選択を考えることができる。 【創意工夫】 ・目的や用途に応じ、栄養や価格、調理の能率、嗜好・環境への配慮などの諸条件も考慮し、適切に食品を選択することができる。 【技能】 ・調理の種類や目的に合う食品を、用途に応じ工夫して適切に選択する。 【創意工夫】 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な生活の場をイメージさせ、選択のポイントを示す。 ・実際の調理実習の計画を立てさせ、比較するものを示しながら選択させる。

5 本時の指導

(1) 目標

- ① 食品添加物について関心を持ち、適切な食品を選択しようとしている。 【生活や技術への関心・意欲・態度】
- ② 食品添加物の安全性と問題点を理解している。 【生活や技術についての知識・理解】
- ③ 食品添加物の知識を生かし、適切な食品選択をする観点を考えることができる。 【生活を工夫し創造する能力】

(2) 展開

過程	学習内容	指導上の留意点、評価(☆)
10分	<p>1 無果汁のジュースと果汁100%のジュースを飲み比べて、どちらのジュースを購入したいか考える。</p> <p>2 それぞれのジュースの原材料を知る。 [無果汁ジュースの材料] 水、砂糖、クエン酸(酸味料) オレンジエッセンス(香料) 赤色102号 黄色4号(着色料)</p> <p>3 学習課題を確認する。</p>	<p>・表示のない二つのビンにジュースを入れ、班ごとに配布しておく。それぞれをコップに注いで、見た目と味からどちらの食品を選ぶか、自分で判断させる。理由も発表させる。</p> <p>・無果汁ジュースの材料を実際に見せる。実際の食品でもよく使用されている食品添加物であるが、生徒にとってはそれを目にするのはほとんどない。オレンジを使用しなくてもオレンジジュースらしい色や香りや味を作ることができることを知らせ、他の食品にもいろいろな食品添加物が含まれていたことを思い出させる。</p> <p>・ほとんどの生徒が味のよさから果汁入りジュースを選択するであろう。しかし、実際に食品を購入するときには、味は確かめられない。食品を購入するときにはどんなことに注意していく必要があるのかを学習することを確認する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">安全な食品を選ぶためにはどんなことに気をつけたらよいか</div>		
35分	<p>4 班ごとに購入してきた食品と準備してある食品を比較して、どちらを購入したいかをいろいろな視点から考える。(15分)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ウィナーソーセージ 梅干し マーガリン スポーツ飲料 カップラーメン ふりかけ </div> <p>5 班ごとにどちらを購入したいかとその理由を発表する。(10分)</p> <p>6 食品添加物の取りすぎによる体への影響について知る。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二種類以上の相互作用によって発ガン性物質ができるものもあること ・自然界にないものが使われていることもあるために、長く取り続けた場合の体への影響は確認されていないこと ・平均1日10gを摂取しており、体内に残るものもあること <p>7 安全な食品を選ぶためには、どんなことに気をつけたらよいかを考える。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品添加物の少ないものを選ぶこと ・食品の表示をよく見て選ぶこと ・いろいろな情報を活用すること 	<p>・二つの食品の色、外観、価格、消費期限、原材料について比較させ、食品添加物の量によって違いがあることに気づかせる。その食品添加物が使用されている目的についても想起させながら、どちらの食品を選ぶかの目安にさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ☆ 食品添加物について関心を持ち、適切な食品を選択しようとしているか。 【関心・意欲・態度】 (観察、学習プリント) </div> <p>・理由を記入させ、できたところから黒板に貼らせる。各班の発表が終わったら関わりの深いものをまとめ、購入のポイントを整理する。</p> <p>・実際にあきらかになっている体への影響を知ること、食品添加物の取りすぎに注意する必要があることに気づかせたい。ただし、1つ1つの食品添加物については、はつきりしていないことも多く、いろいろな実験がされていることも知らせておく。</p> <p>・食品の表示にはいろいろな情報が盛り込まれている。しかし、その情報に対する知識がなければ自分の体を守ることはできない。そこにどんな情報が書かれているのかを知り、自分で選択していくことが消費者として大切なことであることを実感させたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ☆ 食品添加物の知識を生かし、適切な食品選択をする観点を考えることができたか。 【創意工夫】 (発言、学習プリント) </div>
5分	<p>8 本時の感想と自己評価をまとめる。</p> <p>9 次時の学習について確認する。</p>	<p>・実際に加工食品を購入する際に、どんなことに注意していきたいかを自分なりの言葉で発表させたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ☆ 食品添加物の安全性と問題点を理解しているか。 【知識・理解】(学習プリント) </div>

(3) 評価規準と判断基準

判断基準 評価規準	A : 十分満足できる	B : おおむね満足できる	C : 努力を要する (具体的な対応・手だて)
①食品添加物について 関心を持ち、適切な食品を選択しようとしている。 【関心・意欲・態度】	班の話し合いに積極的に参加し、自分の考えをまとめながら、いくつかの観点を発表しようとしている。	班の話し合いに積極的に参加し、自分の考えを発表しようとしている。 (観察・学習プリント)	話し合いに消極的である。 (他の考えを聞かせ、それについてどう思うかを考えさせながら、話し合いに参加できるよう支援する。)
②食品添加物の安全性と問題点を理解している。 【知識・理解】	食品添加物の必要性も理解した上で、安全性や問題点についていくつか指摘できる。	食品添加物の安全性と問題点について指摘できる。 (学習プリント)	食品添加物の安全性と問題点についての理解が不十分で指摘があいまいである。 (班の話し合いで発表された意見について確認し、まとめさせる。)
③食品添加物の知識を生かし、適切な食品選択をする観点を考えることができる。 【創意工夫】	提示された食品表示を比較検討し、体への影響を考えながら、食品を選択する観点をいくつかあげることができる。	提示された食品表示読み取り、食品添加物の知識を生かして、食品を選択する観点をあげることができる。 (発言・学習プリント)	食品を選択する観点到、学習した食品添加物の知識が生かされていない。 (他の生徒の発表を聞かせ気づいたことをもとに自分の考えをまとめさせる。)

(4) 板書計画

今日の学習課題 安全な食品を選ぶためにはどんなことに気をつけたらよいだろうか

無果汁100%ジュース
(原材料)
砂糖、ケエン酸(酸料)
オレンジエッセンス(香料)
赤色102号(着色料)
黄色4号(着色料)

果汁100%ジュース
(原材料)
オレンジ

〈食品を比較理由〉

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ポイントを整理する

〈食品添加物の安全性と問題点〉

食品衛生法 で定められている

類で(安全性)が 認められている

組み合わせると
↓
+ 発ガン性
+ 精神障害

長い間続けると
↓
体に長期的なものもある

学習のまとめ

- ・表示をよくみて選ぶ
- ・なるべく食品添加物の少ないものを選ぶ
- ・情報を活用する

今日の学習課題

比べてみよう! 見た目 値段 消費期限 原材料

ポイント	先生が買った食品	班で買った食品
見た目		
値段		
消費期限		
原材料		

買いたいのはどっち?



[結論]

[理由]

簡単にチェックしてみよう

<食品添加物の安全性と問題点>

で定められている

組み合わせると

各種の試験により () が確認されている

長い間とりつづけると

学習のまとめ

自分の考え

組 番 氏名 班

今日の授業でわかったこと 考えたこと

授業を終えてもっと知りたくなったこと

班の話し合いに積極的に参加できたか

積極的に参加できた

参加できた

できなかった

加工食品の選び方を考えることができたか

考えることができた

意見を聞いて考えることができた

できなかった